

2020年3月期 決算説明資料

2020年5月14日

デンヨー株式会社



写真：デンヨーヨーロッパ

I. 2020年3月期決算の概要

II. 新型コロナウイルス感染症への対応状況 および2021年3月期連結業績予想への影響

III. 2021年3月期通期の見通し

I . 2020年3月期決算の概要

2020年3月期実績ハイライト（連結）

ポイント

売上高および利益とも大幅増。

（単位：百万円）

	2019年3月期		2020年3月期		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高	55,554	100%	62,887	100%	7,332	13.2%
営業利益	4,201	7.6%	6,057	9.6%	1,856	44.2%
経常利益	4,592	8.3%	6,202	9.9%	1,610	35.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,166	5.7%	4,071	6.5%	905	28.6%
設備投資	1,499		1,201		△ 298	△ 19.9%
減価償却費	1,132		1,162		30	2.7%
1株当り当期純利益	149.8円		194.3円		44.5円	29.7%
R O E	5.9%		7.4%			
1株当り年間配当金	42.0円		46.0円			

製品別売上高の動向（連結）

概況

1. 発電機は 6,776百万円(15.5%)の増加。
2. 溶接機は 42百万円(0.8%)の減少。
3. コンプレッサは 47百万円(4.5%)の減少。

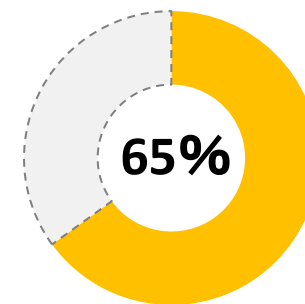
(単位:百万円)

		2019年3月期		2020年3月期		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		55,554	100%	62,887	100%	7,332	13.2%
製品別	発電機	43,660	78.6%	50,436	80.2%	6,776	15.5%
	溶接機	5,115	9.2%	5,072	8.1%	△ 42	△ 0.8%
	コンプレッサ	1,059	1.9%	1,012	1.6%	△ 47	△ 4.5%
	その他	5,719	10.3%	6,365	10.1%	646	11.3%

エンジン発電機（連結）

	2019年3月期	2020年3月期	前期比 増減率
発電機	43,660 ^{百万円}	50,436 ^{百万円}	15.5%

- 国内は、レンタル会社向けに落ち着きが見られるも、停電対策用の発電機が好調に推移。
- 海外は、米国向けが大幅に増加。



可搬形エンジン発電機の国内シェア
※当社調べによる（5年平均）



縦型極小スペース
非常用発電装置



サイマルジェネレータ

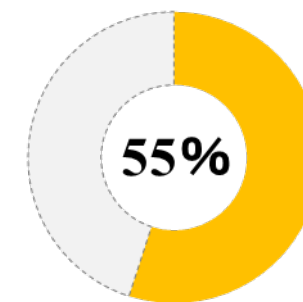
1kVAから1100kVA までのエンジン発電機を製造

- 可搬形発電機
建設現場、土木工事、災害復旧・復興などの動力源
- 非常用発電機（定置形）
防災設備やオフィスなどのバックアップ電源
- 電源車など

エンジン溶接機（連結）

	2019年3月期	2020年3月期	前期比 増減率
溶 接 機	5,115 ^{百万円}	5,072 ^{百万円}	△ 0.8%

- 国内は、炭酸ガス溶接機やTIG溶接機など特殊溶接機が増加。
- 海外は、米国向けが減少。



エンジン溶接機の国内シェア
※当社調べによる（5年平均）



炭酸ガスエンジン溶接機

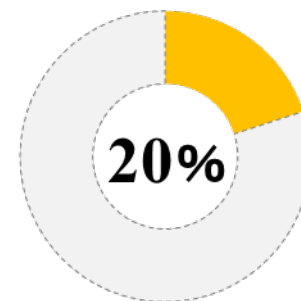
屋外作業の溶接機として当社が日本で初めて開発
軽量鉄骨溶接用の135Aから重量鉄骨溶接用の500Aエンジン溶接機、
およびTIG溶接機、CO2溶接機など

- ビルやマンション、橋梁などの鉄骨構造物の溶接
- 石油備蓄タンク、パイプラインなどの重要構造物の溶接

エンジンコンプレッサ（連結）

	2019年3月期	2020年3月期	前期比 増減率
コンプレッサ	1,059 ^{百万円}	1,012 ^{百万円}	△ 4.5%

- 米国向けが増加するも、国内向けは減少。



エンジンコンプレッサの国内シェア

※当社調べによる（5年平均）



エンジンコンプレッサ



モータコンプレッサ

吐出空気量1.7^{m³}/minから45.3^{m³}/minまで製造

- 道路工事のはつり作業、地盤改良工事
- 山岳道路の土砂崩れ防止のモルタル吹き付け工事
- スキー場の人工降雪機用など

その 他（連結）

	2019年3月期	2020年3月期	前期比 増減率
その 他	5,719 ^{百万円}	6,365 ^{百万円}	11.3%

- 部品売上や高所作業車などが増加。

その他の売上

- 高所作業車
- 負荷試験装置
- 部品売上
- 中古機や仕入商品売上
- 修理売上など



高所作業車

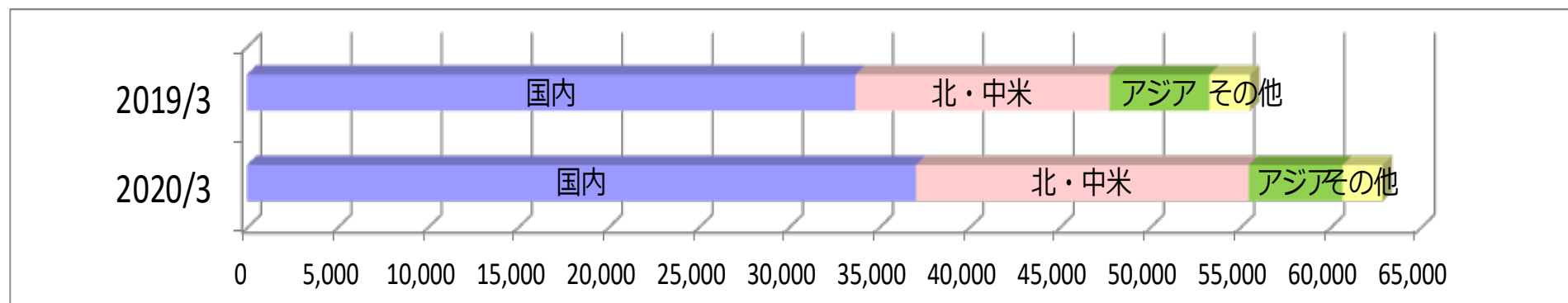


負荷試験装置

地域別売上高の動向（連結）

（単位：百万円）

		2019年3月期		2020年3月期		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		55,554	100%	62,887	100%	7,332	13.2%
国内売上高		33,693	60.6%	37,043	58.9%	3,349	9.9%
海外売上高		21,860	39.3%	25,844	41.1%	3,984	18.2%
地域別	北・中米	14,080	25.3%	18,430	29.3%	4,349	30.9%
	アジア	5,527	9.9%	5,197	8.3%	△ 330	△ 6.0%
	その他	2,252	4.1%	2,216	3.5%	△ 36	△ 1.6%



営業利益増減の要因分析

営業利益増

売上高の増加と営業利益率の改善により、増益となる。

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	前期比増減
営業利益	4,201	6,057	1,856
営業利益率	7.6%	9.6%	2.0 ポイント

	2019年3月期	2020年3月期	前期比増減
売上総利益率	22.3%	23.2%	0.9 ポイント
売上高販管費比率	14.8%	13.6%	△ 1.2 ポイント
売上高営業利益率	7.6%	9.6%	2.0 ポイント

- 売上総利益率は、比較的収益性の高い製品の増加もあり改善。
- 売上高販管費比率は、売上増に伴い、人件費などの固定費の比率が低下し改善。

連結貸借対照表

概要

1. 流動資産 3,083百万円の増加は、主に現金預金などの増加による。
2. 流動負債 372百万円の減少は、主に仕入債務などの減少による。

(単位:百万円)

	2019年3月 期末	2020年3月 期末	前期末比 増減額
流 動 資 産	49,849	52,932	3,083
固 定 資 産	24,236	22,694	△ 1,542
資 産 合 計	74,085	75,626	1,541
流 動 負 債	14,624	14,252	△ 372
固 定 負 債	3,170	3,019	△ 151
負 債 合 計	17,794	17,272	△ 522
純 資 産 合 計	56,290	58,354	2,064
負 債 純 資 産 合 計	74,085	75,626	1,541

連結キャッシュ・フローの推移

概要

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー7,272百万円は、主に税金等調整前当期純利益などの計上による。
2. 現金及び現金同等物の残高は、4,883百万円増加。

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,085	7,272
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 164	△ 874
I + II フリー・キャッシュ・フロー	3,921	6,398
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,315	△ 1,528
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 146	13
V 現金及び現金同等物の増減額	2,458	4,883
VI 現金及び現金同等物の期末残高	16,170	21,054

Ⅱ. 新型コロナウイルス感染症への対応状況 および2021年3月期連結業績予想への影響

新型コロナウイルスへの対応状況

現在の対応状況

全てのステークホルダーの健康と安全を第一に考えて対応

お客様への対応	<ul style="list-style-type: none">・ お客様への訪問の原則禁止・ 制約下での生産・出荷体制維持
社員への対応	<ul style="list-style-type: none">・ 在宅勤務や交代勤務、時差出勤の推進・ マスクの着用や手洗い・うがい・消毒の励行・ 全社員へのマスク配布・ 国内、海外出張の原則禁止・ Web会議の積極活用・ 中学生以下の子どもをもつ社員に対して、臨時休校期間中の特別有給休暇の付与 etc
財務面の対応	<ul style="list-style-type: none">・ 手元資金として連結で約210億円の現金及び現金同等物を保有(連結売上高の約4か月分)・ 取引先金融機関4行との間でコミットメントライン30億円を締結

社会インフラを支えるパワーソース提供のため、
グループ社員一丸となり、製品供給体制の維持に向けて注力

新型コロナウイルスへの対応状況

各生産拠点の状況

現時点では、製品の供給については大きな影響は出ていない。

日 本 (福井工場・滋賀分工場・ ニシハツ株式会社(唐津))	<ul style="list-style-type: none">・ 通常通り稼働中・ 一部部品の納入遅延はあるが、在庫や代替品による対応で影響は限定的
ア メ リ カ (Denyo Manufacturing Corporation)	<ul style="list-style-type: none">・ 3月24日～4月3日までの期間一時稼働停止・ 現在は出社人数を制限し、限定的に稼働中
イ ン ド ネ シ ア (P.T. Dein Prima Generator)	<ul style="list-style-type: none">・ 3月30日～31日までの期間 一時稼働停止・ 現在は通常通り稼働中
ベ ト ナ ム (Denyo Vietnam Co.,Ltd.)	<ul style="list-style-type: none">・ 通常通り稼働中

新型コロナウイルスへの対応状況

各販売拠点の状況

営業活動が制約されているほか、シンガポールやオランダの販売会社の出荷業務に影響。

日 本	<ul style="list-style-type: none">・ 在宅・交代勤務等を実施した上で、通常営業中・ 各地の展示会が延期又は中止になるなど営業活動に影響
シンガポール (Denyo United Machinery Pte.Ltd.)	<ul style="list-style-type: none">・ 4月7日～現在まで在宅勤務を実施・ 6月2日より事務所での業務再開予定・ 在宅勤務によりシンガポールにおける出荷業務に影響
ベトナム (Denyo Trading Vietnam Co.,Ltd.)	<ul style="list-style-type: none">・ 3月24日～4月25日まで在宅勤務を実施・ 本年2月設立、4月1日より営業を開始した販売会社のため、業務への影響小
オランダ (Denyo Europe B.V.)	<ul style="list-style-type: none">・ 3月12日～現在まで在宅勤務を実施・ 5月19日より事務所での業務再開予定・ 欧州全般におけるロックダウンの影響で営業活動、出荷業務に影響

2021年3月期連結業績予想への影響

新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが不透明な状況や、政府による緊急事態宣言の発出されている状況において、現時点では業績に与える影響の合理的な算出が困難であることから、2020年5月14日に発表した2021年3月期の連結業績予想（及び本資料の「Ⅲ.2021年3月期通期の見通し」）には新型コロナウイルス感染拡大による影響を織り込んでおりません。

したがって、今後の事態の進展によっては、業績予想の下方修正を行う可能性がございます。

現時点で想定されうる業績予想下方修正の主たるリスク要因は以下のとおりです。

現時点で想定される業績予想下方修正の主たるリスク要因

- ・ 各地で予定されていたイベントなどの中止に伴う発電機需要の減少
- ・ 非常用発電機の設置工事の停止・延期に伴う納品延期
- ・ 海外のプロジェクト案件の停止・延期に伴う製品需要の減少
- ・ 景気の先行き懸念からの建機レンタル会社などの投資抑制
- ・ 仕入先、外注先からの購入部品等の納入遅延（特に主要購入部品であるエンジンの納入遅延は影響度合いが大きくなる可能性）
- ・ 当社グループの社員および家族が新型コロナウイルスに感染することに伴う、営業、生産、開発の停滞・遅延

Ⅲ. 2021年3月期通期の見通し

2021年3月期予想～連結損益の見通し

ポイント

1. 新型コロナウイルスの感染拡大の影響は含んでおらず、今後、見通しに影響が出る可能性あり。
2. 為替レートは105円/ドルを想定。

(単位:百万円)

	2020年3月期		2021年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高	62,887	100%	58,000	100%	△ 4,887	△ 7.8%
営業利益	6,057	9.6%	4,900	8.4%	△ 1,157	△ 19.1%
経常利益	6,202	9.9%	5,200	9.0%	△ 1,002	△ 16.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,071	6.5%	3,500	6.0%	△ 571	△ 14.0%
設備投資	1,201		2,000		799	66.5%
減価償却費	1,162		1,250		88	7.6%
1株当り当期純利益	194.3円		167.9円		△ 26.4円	
R O E	7.4%		* 6.2%			
1株当り配当金(円)	46.0円		46.0円			

* 自己資本は前期末の金額で計算

製品別売上高の見通し（連結）

概況

主に、前期に大幅に増加した米国向け発電機の反動減や国内の工事向け発電機などの減少を見込む。

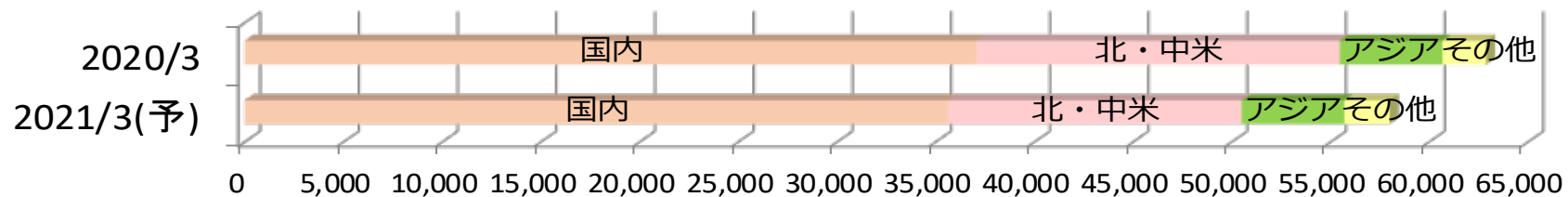
（単位：百万円）

		2020年3月期		2021年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		62,887	100%	58,000	100%	△ 4,887	△ 7.8%
製品別	発電機	50,436	80.2%	45,800	79.0%	△ 4,636	△ 9.2%
	溶接機	5,072	8.1%	5,200	9.0%	128	2.5%
	コンプレッサ	1,012	1.6%	1,100	1.9%	88	8.7%
	その他	6,365	10.1%	5,900	10.2%	△ 465	△ 7.3%

地域別売上高の見通し（連結）

（単位：百万円）

		2020年3月期		2021年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		62,887	100%	58,000	100%	△ 4,887	△ 7.8%
国内売上高		37,043	58.9%	35,600	61.4%	△ 1,443	△ 3.9%
海外売上高		25,844	41.1%	22,400	38.6%	△ 3,444	△ 13.3%
地域別	北・中米	18,430	29.3%	14,900	25.7%	△ 3,530	△ 19.2%
	アジア	5,197	8.3%	5,200	9.0%	3	0.1%
	その他	2,216	3.5%	2,300	4.0%	84	3.8%



営業利益予想の内容

営業利益減

主に売上高の減少により、営業利益 1,157百万円の減少を見込む。

(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期(予)	前期比
営業利益	6,057	4,900	△ 1,157
営業利益率	9.6%	8.4%	△ 1.2 ポイント

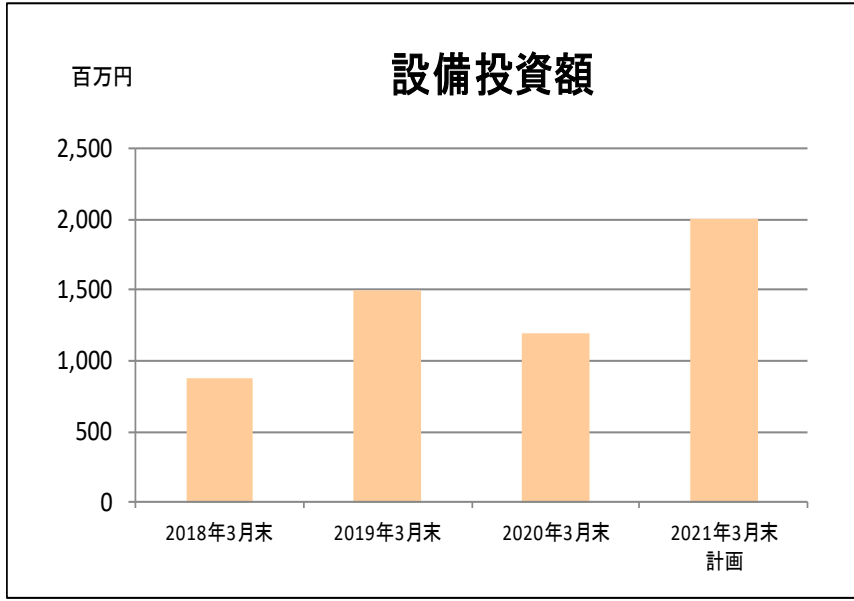
	2020年3月期	2021年3月期(予)	前期比増減
売上総利益率	23.2%	23.1%	△ 0.1 ポイント
売上高販管費比率	13.6%	14.7%	1.1 ポイント
売上高営業利益率	9.6%	8.4%	△ 1.2 ポイント

- 売上総利益率は、売上高が減少するも、比較的収益性の高い製品の需要は堅調に推移すると見込み、若干の低下にとどまる。
- 売上高販管費比率は、売上高の減少により固定費比率の上昇を見込む。

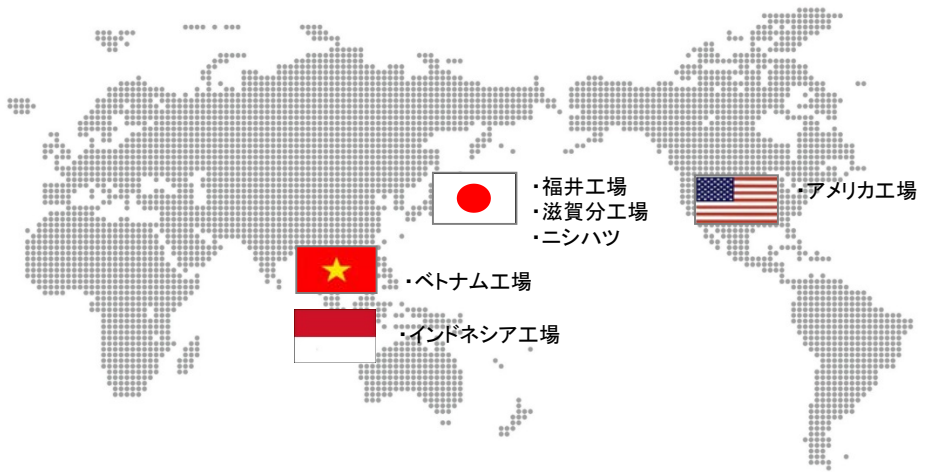
設備投資額の推移

(単位:百万円)

	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末	2021年3月末 計画
設備費	870	1,499	1,201	2,000
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・福井機械等 310 ・ニシハツ 50 ・アメリカ工場 450 ・ベトナム工場 20 ・その他 40 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井機械等 730 ・ニシハツ 50 ・アメリカ工場 670 ・その他 40 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井機械等 810 ・ニシハツ 20 ・アメリカ工場 290 ・ベトナム工場 10 ・その他 70 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井機械等 1600 ・ニシハツ 50 ・アメリカ工場 150 ・ベトナム工場 80 ・その他 120



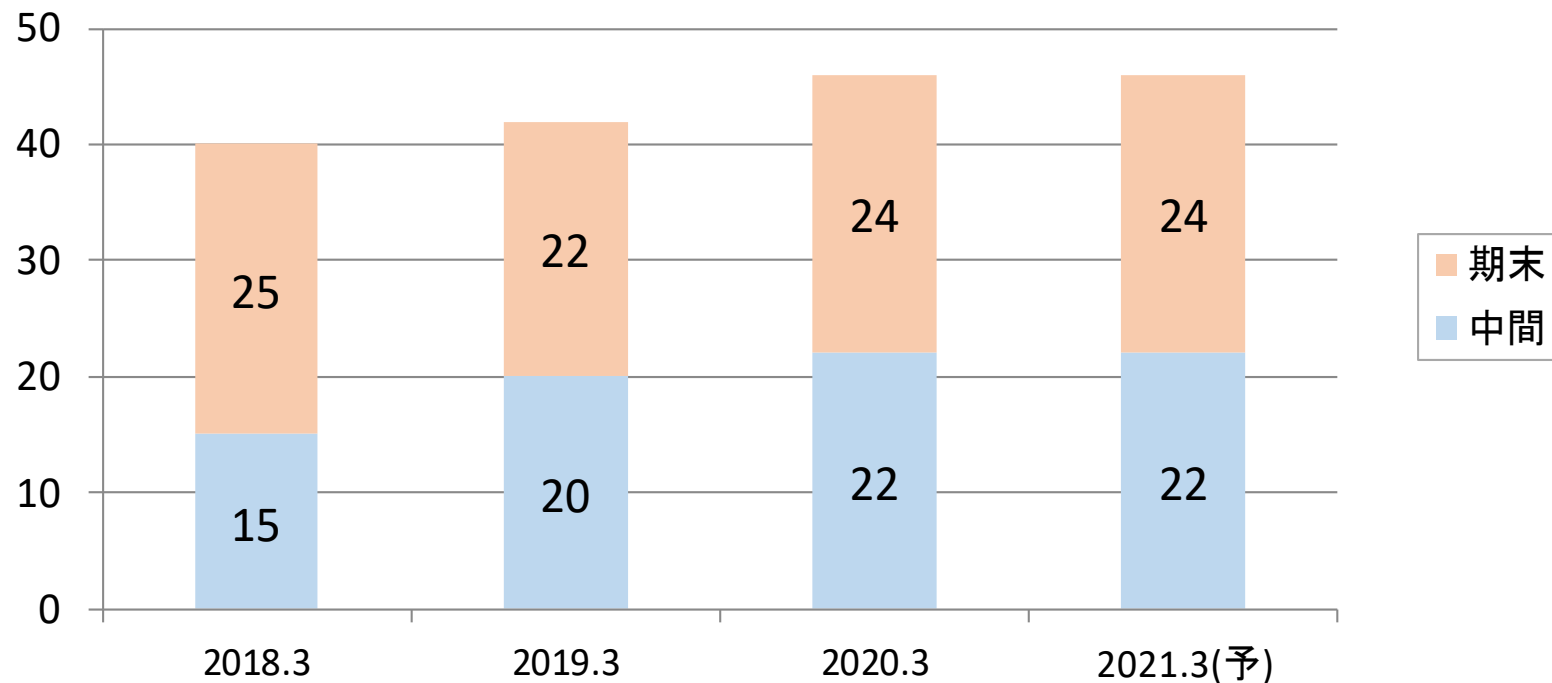
生産拠点一覧



利益配分の方針

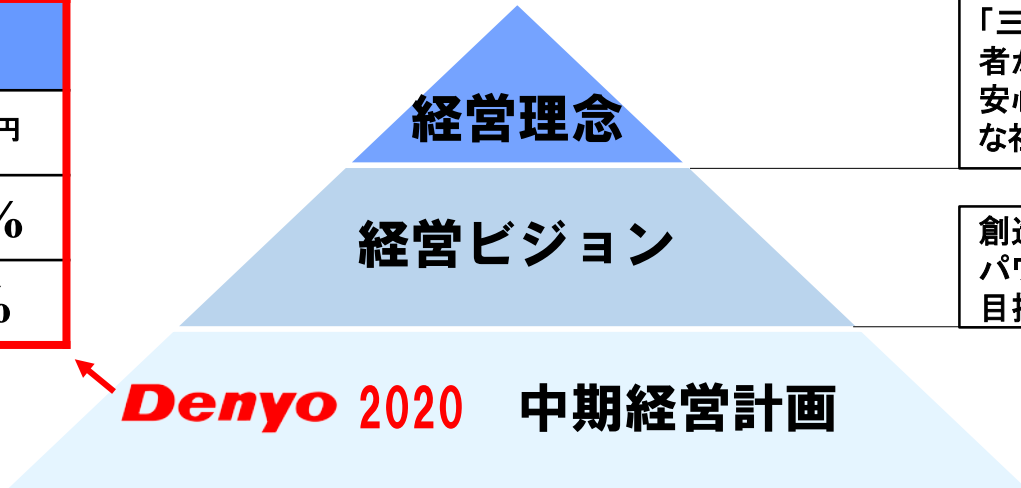
利益配分: 収益力の向上と財務体質の強化に努めながら、株主の皆様に対する利益の還元をより充実していくことが重要と認識し、業績や配当性向などを総合的に勘案した成果配分を実施

(配当金の推移 19年3月期 42円 ⇒ 20年3月期 46円 ⇒ 21年3月期 46円予想)



中期経営計画の概要

2020年度・経営目標	
連結売上高	580億円
経常利益率	11.0%
ROE	7.0%



「三者の得」(使う人、売る人、造る人、三者がともに繁栄すること)を踏まえ、安全・安心なパワースOURCEの提供を通じて、豊かな社会造りに貢献する

創造力と不断の技術革新を通じて、高品質パワースOURCEのグローバルNo1ブランドを目指す

基本方針

建設関連分野における高品質パワースOURCEのトップランナーとしての地位を堅持しつつ、建設関連以外および海外向けの比率を高め、環境変化に強い収益構造を実現する

国内市場戦略

- 建設関連事業**
 - ◇ 営業体制の見直しや、顧客ニーズを踏まえた新製品開発を着実に推進しシェア確保を図る
- 建設関連以外の事業**
 - ◇ ニシハツ株式会社との連携強化を通じたグループ営業体制の見直しと、総合提案型営業強化によるシェア拡大を目指す

海外市場戦略

- 海外事業**
 - ◇ アジアは今後拡大が見込まれるレンタル市場を含め積極的に対応。アジア・その他地域(欧州、中近東等)を含め、販売力・サービス力強化を推進。米州は現地代理店との連携を強化
 - ◇ ターゲット市場が求める仕様の確認、アジア・中近東地域における定置形発電機の生産販売体制の確立を図る
 - ◇ 溶接機については、ターゲット市場が求める製品ラインアップ充実、メンテナンス性の高い製品の開発に注力する

経営基盤の強化

- 開発**
 - ◇ 市場ニーズを的確に捉え、競争力のある製品開発を迅速に行う。国内外定置形発電機への対応強化
- 生産**
 - ◇ 最適地生産を一層推進し、高品質の製品供給・原価低減・納期短縮を図る
- 人材育成**
 - ◇ 教育体制の一層の拡充、特にグローバル人材の育成に注力する

見通しに関する注意事項

この資料には、2020年5月14日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想が含まれています。
今後の経済変動、競合状況などにより、実際の業績が予測と大幅に異なる可能性があります。

あくまでも、情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。
投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。

当社のIRに関するお問い合わせ先

経営企画室 田辺・後藤
電話：03-6861-1178
FAX：03-6861-1185

參考資料

エンジン発電機、エンジン溶接機など野外パワースーツのトップメーカー

沿革： 昭和23年7月2日 「日本電機溶接機材株式会社」として設立
昭和34年 我が国初の高速エンジン溶接機を開発、発売
昭和36年 エンジン発電機の生産、販売開始
昭和41年 防音型開発
デンヨー株式会社に社名変更
昭和58年 東証二部上場
平成12年 東証一部上場

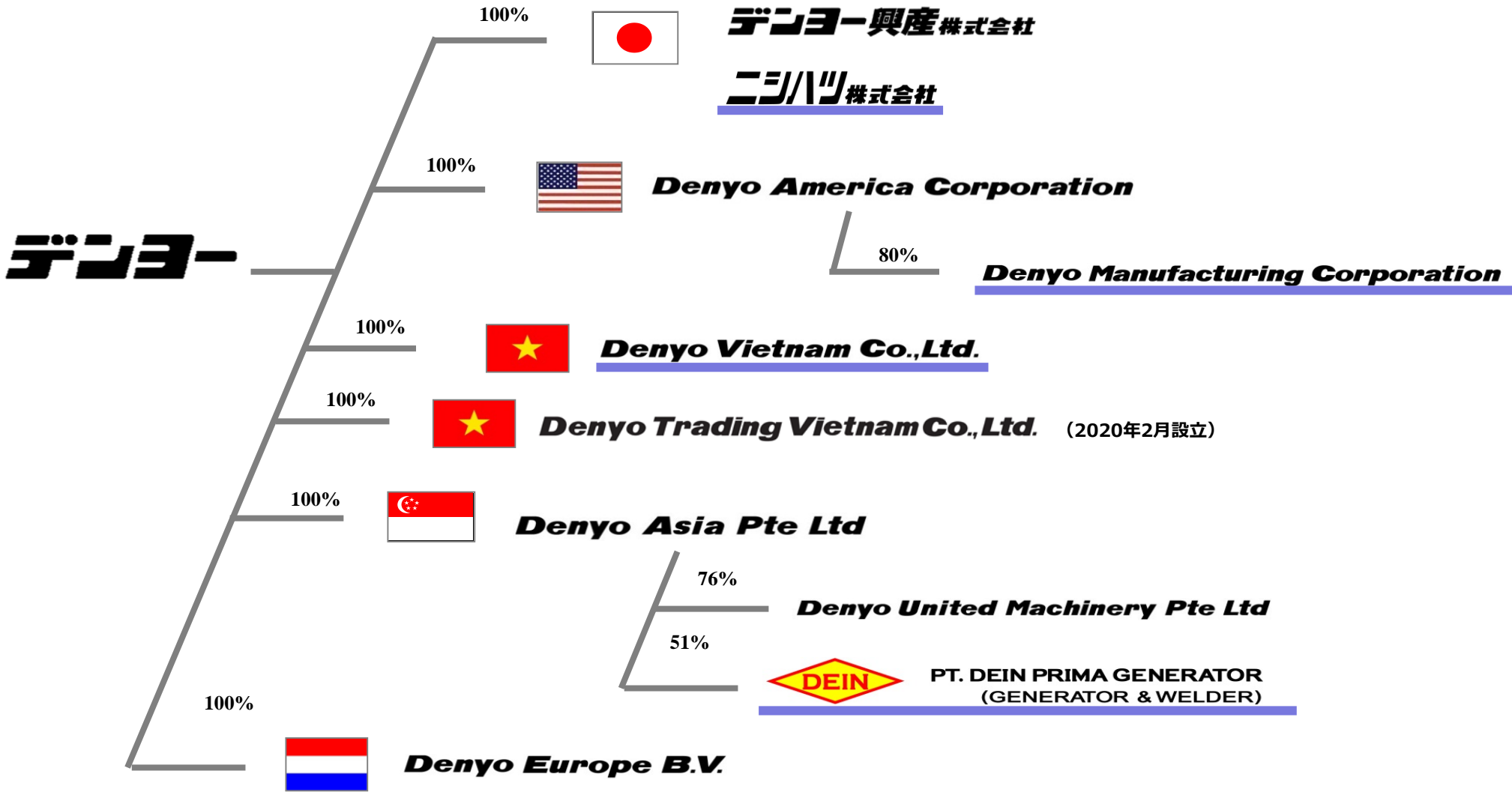
会社規模など（2020/3期・連結ベース）

（単位：百万円）

売上高	62,887
うち海外売上高	25,844
経常利益	6,202
親会社株主に帰属する当期純利益	4,071
総資産	75,626
純資産	58,354
時価総額（3/31時点）	44,005
従業員数	1,370人

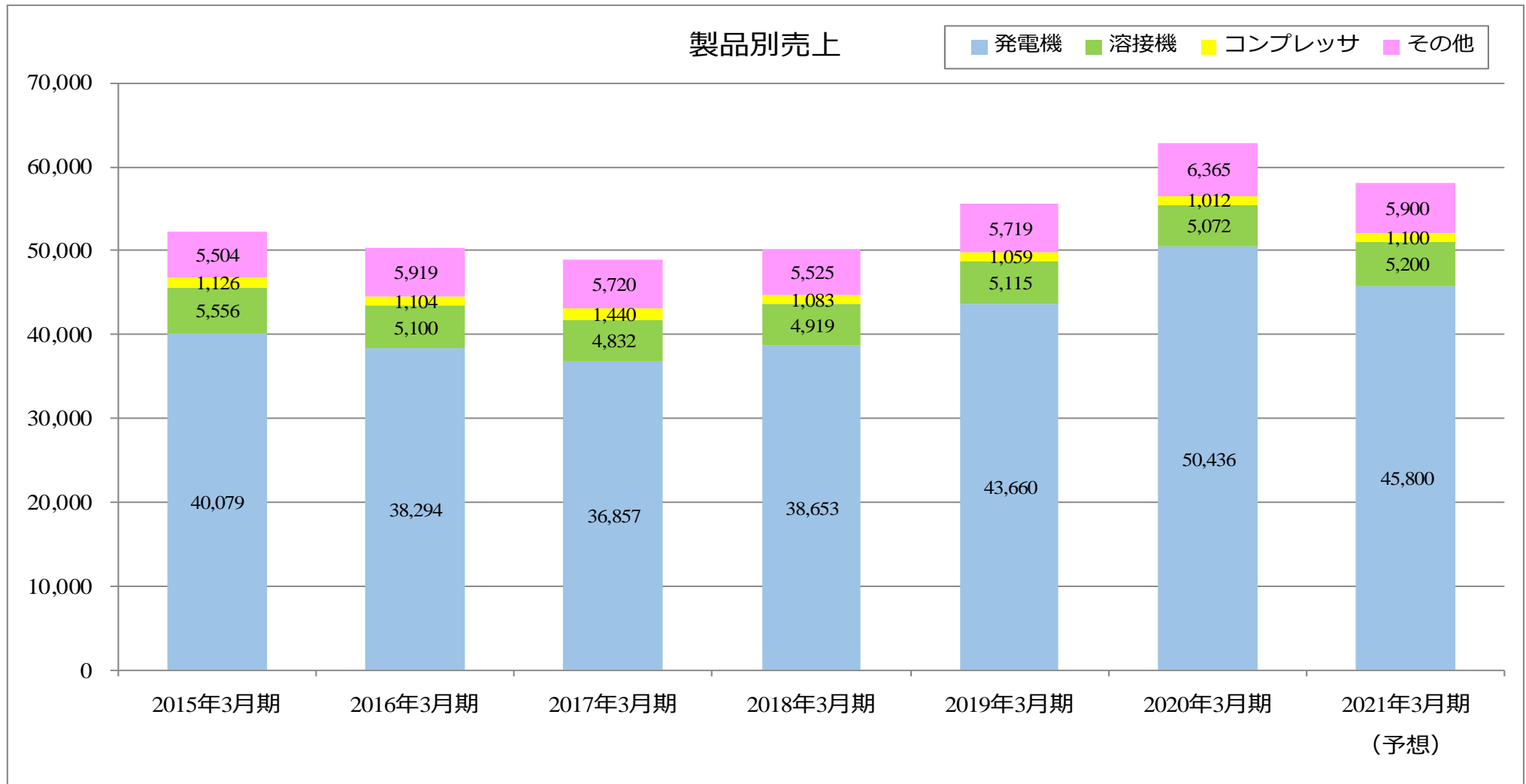


本社（日本橋堀留町）

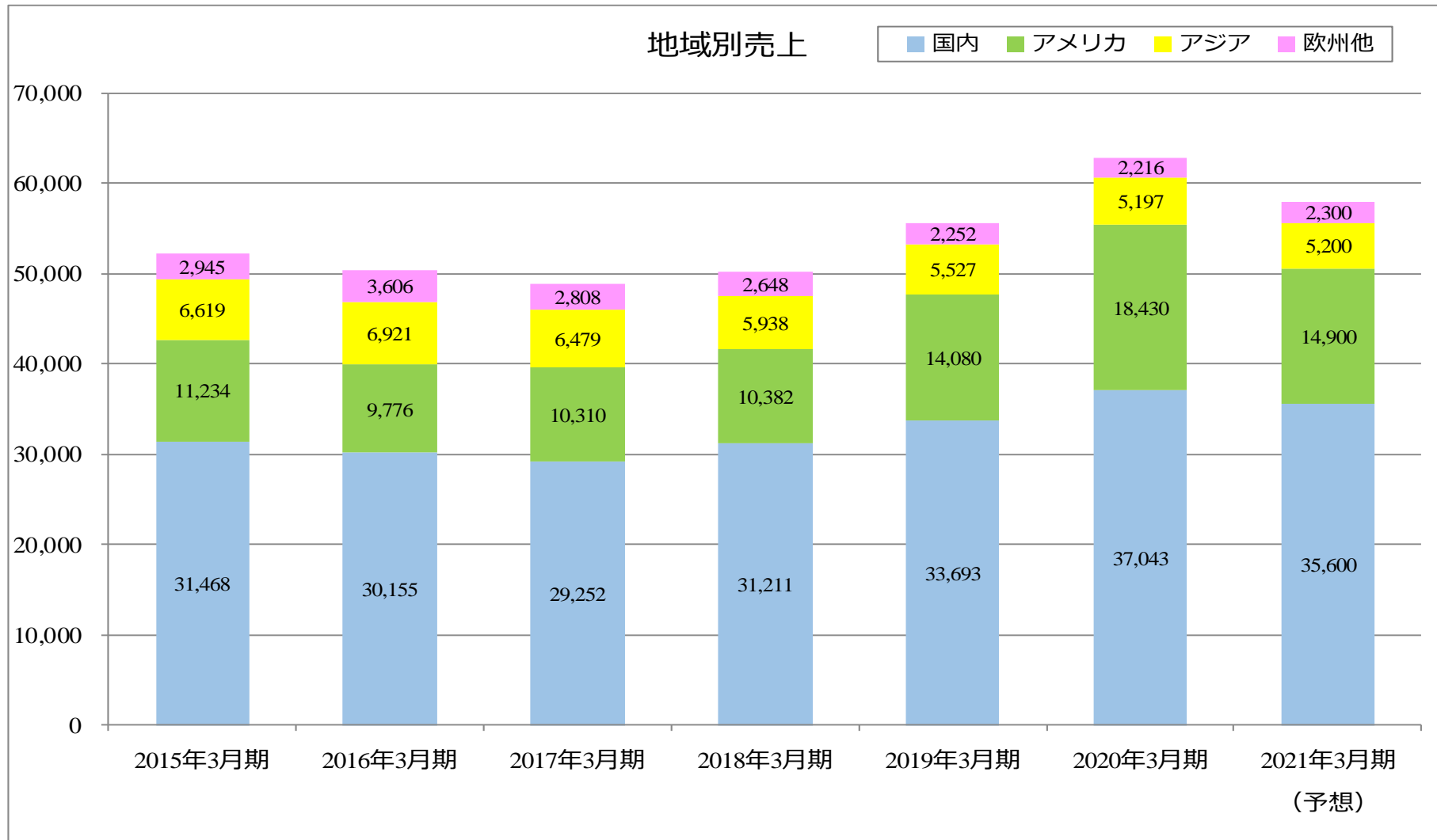


* 1.この他に持分法適用の関連会社「新日本建販(株)」(出資比率15.7%)があります。
2.下線の引いてある会社は製造会社となります。

製品別推移と予想



地域別推移と予想



過去30年間の業績の推移

